

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

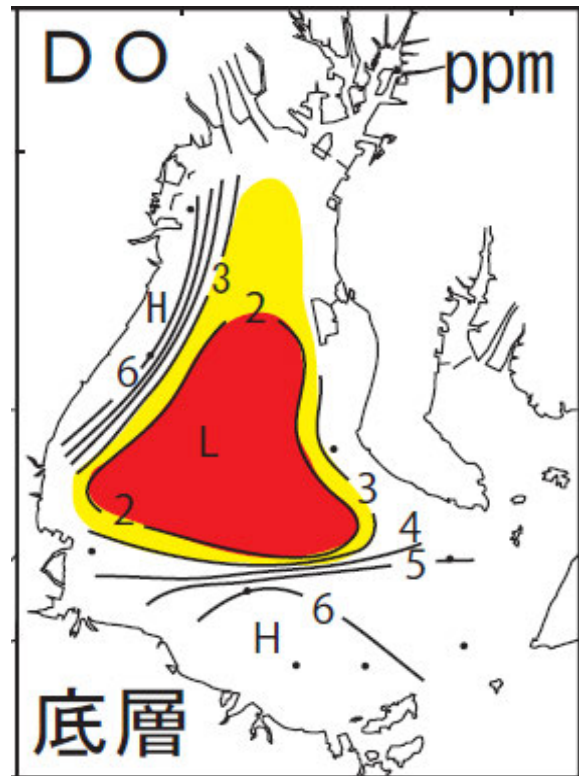
伊勢湾の底層では溶存酸素量の低下が始まり、湾中央部を中心に 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

6 月 6 日の調査結果

6 月 6 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 20.0～23.6℃、10m で 18.3～21.8℃、底層で 15.7～22.0℃ の範囲にあり、表層と底層は平年よりやや高め、10m ではやや高めから高めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 7.3～11.5ppm、10m で 7.2～8.3ppm、底層で 1.1～6.6ppm の範囲にあり、表層は平年並からやや低め、10m でやや高めから高め、底層では平年並ですが、湾中央部を中心に 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇に伴って、底層の貧酸素化が進行して貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図